

診療情報の統一化の実現により患者さんに掛かる負担を大幅に軽減し
提供できる医療の質も向上



院長 岡田 昭明先生

導入経緯

すべての科の診療情報を統合し
診療の簡素化・効率化を目指す

STELLAR 導入のきっかけの1つ目は、紙カルテで外来も入院も運用しており、そのなかで紙カルテの量が増えて管理することが非常に大変になってきていたこと。2つ目は、2014年の新築に向けて診療体制を整える必要があると考えていた際に、院内で「紙カルテをなくしたい」「すべての科で同じ運用の診療ができるようにしたい」という声があがっていたことです。

医療システムの導入については、本来、オーダリングシステムが先なのか・統合支援システムが先なのかという問題はありましたが、まずは「簡素化・効率化」を目指すことにしました。

さまざまな診療統合管理システムのなかで
費用対効果 NO. 1

PACS も同時に入れて、STELLAR による診療体制の統一化と、レントゲンフィルムや心電図の記録用紙をなくして省スペース化を実現しました。

アストロステージに決めた最大の理由は、色々あるメーカーのなかで、製品の費用対効果が最も高いと考えたためです。今後、オーダリングシステムにも相当な費用がかかることを想定していましたので、「診療上、機能的に十分に使える」というもののなかで、長期的な目で見て一番よいだろうと判断しました。

導入システム

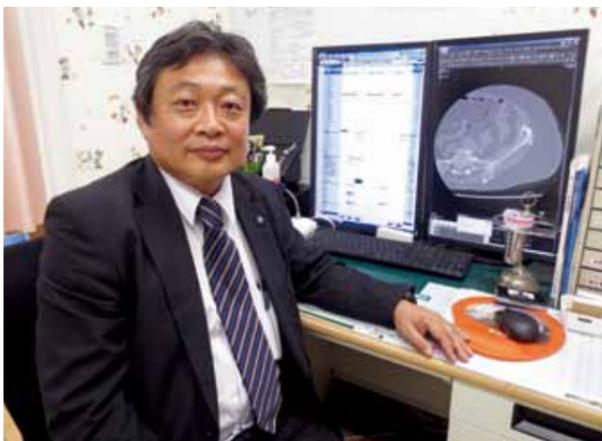
- DICOM 画像管理システム Nazca
- 診療情報統合システム STELLAR
- ドキュメント作成&管理システム STELLARReport

導入効果

視覚的に・簡単に診療情報を取得できるため
職員も患者も負担が軽減

STELLAR 導入による最大のメリットは、「一つの画面ですべての診療情報がわかること」これに尽きます。オーダリングシステムや電子カルテシステムにしても、画面を変えつつ情報を知ることはできます。しかし、一見するだけでばっとその患者さんの診療情報がすべて見られるのは当システムだけではないでしょうか。視覚的で簡単などが素晴らしいです。

また、以前は科別のカルテでしたので、各科でどういった診察をしているか見ようとしたら、そのカルテを取り寄せなければなりません。そのため、ひとりの患者さんに同じ検査を受けさせたり、似たような薬を出してしまったりということが、どうしても発生してしまっていました。もちろん、患者さんにとっては決してよいことではありませんでした。しかし、診療情報の統一化により、患者さんが自院でどの科に罹っているのか・どの科でどういった薬を投与されているのかといった情報をすべての科で共通で見られるようになりましたので、患者さんの負担が大幅に軽減しました。また、我々の診療も効率化することができました。



システム課 課長 越智 敬哉氏

導入前の課題

- 紙カルテを整理しペーパーレスを希望
- 全ての科で同一の診療を可能としたい

導入後の効果

- システムの導入で科別のカルテの確認が容易に
- STELLAR により全ての診療情報の参照が可能に

博慈会記念総合病院：システム導入時期 / Apr 2014



当院は、昭和40年に設立後一貫として、足立区・北区・川口市及びその近隣地区における急性期地域基幹病院として、疾病予防、救急・先進高度医療、リハビリテーションに積極的に取り組み、住民の皆様健康と福祉の増進に努めてまいりました。つねに「患者さま第一」という医療の原点を忘れることなく、公正且つ普遍的な医療の提供に努めるとともに、医学の進歩に沿って病院施設・医療機器の整備や充実を図り、専門的な医療の提供も進めてまいります。さらに大学病院や地域の医療機関との連携を保ちつつ、地域の皆様に信頼される心のもった医療を提供出来まよう、職員一同一丸となって取り組んでいく所存であります。

所在地：東京都足立区鹿浜 5-11-1
病床数：341床
診療科：呼吸器科・消化器科・循環器科・糖尿病科・神経内科・腎臓内科・小児科
放射線科・外科・乳腺科・脳神経外科・整形外科・眼科・形成外科・泌尿器科
耳鼻咽喉科・歯科/矯正歯科/口腔外科・皮膚科・人間ドック

今後の期待・要望

STELLAR 導入から1年が経過した今、他社のオーダリングシステムを導入します。機能的に、STELLAR だけでは診療するにあたって物足りないところは何かあります。それについては、オーダリングシステムをいれる際のメーカー間の連携でどれだけ克服できるかを期待しています。また、費用対効果も引き続き期待しています。

今後の方針

オーダリングシステムを導入して機能的にいい状態にしてうまく運用できる状態であれば、電子カルテを入れたいと考えています。最終的には、地域の病院に同じシステムを入れていただいて、診療情報をリアルタイムで共有・医療地域連携ができればと思います。

システム構成図

